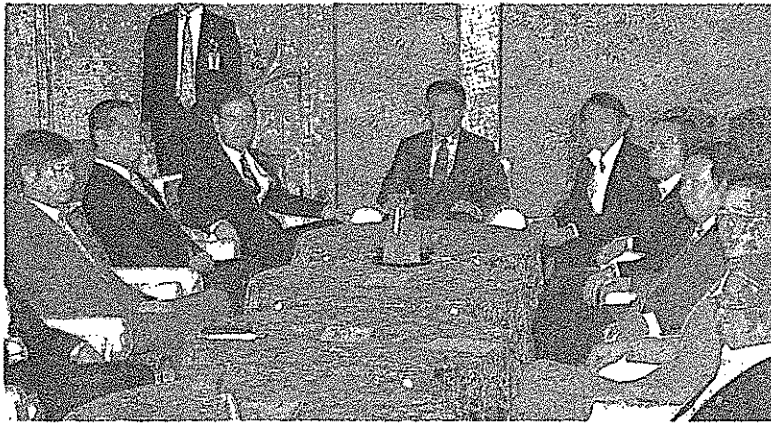


# 野党結束 阻止へ全力

## 緊迫 戦争法案

# 採決めぐり深夜まで攻防

国会は16日夜、野党が猛反発するなか、参院安保法制特別委員会の鴻池祥肇委員長と自民・公明両党が戦争法案の締めくくり総括質疑を設けましたが、開会が大きくずれ込みました。今週中に戦争法案の成立を狙う与党側と、断固阻止で結束する野党側の攻防は緊迫の度合いを増し、同日深夜から17日にかけて、特別委員会での強行採決を許すのか、予断を許さない状況が続きました。国会周辺や、同日午後の地方公聴会が開かれたJR新横浜駅周辺では、おびただしい数の国民・市民が包圍し、「強行採決絶対やめろ」「戦争法案絶対反対」を叫び続けました。



6野党・会派党首会議。左から入道は志位和夫委員長、16日、国会内

与党は特別委員会強行を狙い、野党側が断固反対するも休憩をはさみ理事會で断続的に協議。国民の声を聞く地方公聴会を開いたその日に、採決を前提にした締めくくり質疑を行おうという構算です。理事會開催前から野党議員が国会内の理事會室に押し寄せて猛抗議。委員会開催は大幅に遅れました。

主、維新、社民、生活、参 6党・会派の党首会議で、めぐり総括質疑を委員長と国会派「無所属クラブ」のは、採決を前提とした総括質疑を設け、職権を行使したことに断固

抗議し、開会反対の立場で、地方公聴会も終わらない結果としてたかうこと、②委員会採決を強行した場合めぐり総括質疑が設定されたことについて、公述人などあらゆる手段を駆使して、結果として頭張りぬくこと、失望しつつあります(水戸上野中央弁士)との厳しい批判が上がりました。



戦争法案廃案、強行採決許さない」と怒りのコールを上げる人々、16日夜、国会前

## 国会前 3万5000人怒り

戦争法案の強行採決をねらう政府・与党の暴挙は許さない」と16日、国会周辺に駆けつけた3万5000を超える人(主催者発表)が「強行採決絶対反対」「安倍政権はたちに退陣」と議事堂にむけて怒りのコールを響かせました。雨のなか、押し寄せる人波が絶えず、歩道に加え車道の一部が人で埋まりました。総がかり行動実行委員会やSEALDs(シールズ)自由と民主主義のための学生緊急行動)による大行動です。

日本共産党の山下芳生書記局長、民主党の枝野幸男幹事長、社民党の吉田忠智党首が駆けつけました。山下氏は「なに集まったみなさんこそ安倍政権のルール破りの暴挙を打ち破る希望です。審議を見ても納得できない。世論調査でも反対が多い。おかしいことには声をあげ続け「がんばるぞ」の声がか

全国各地から駆けつけた大学生や高校生、多くの若者が張り裂けんばかりの声をあげました。「安倍政権の姿勢を見たら、黙っていられたな」と話したのは、岡山市から来た大学2年生の前田峻平さん(20)。「審議を見ても納得できない。世論調査でも反対が多い。おかしいことには声をあげ続け

「がんばるぞ」の声がか

7/17 旗